みやまの水つうしん



令和８年
６月１日号

漏水の発見にご協力ください

私たちの生活に欠かせない水道水。しかし、見えない地中や壁の内部などで水道管が破損し、水が漏れてしまう「漏水」が起きています。

限りある水資源を守るため、日頃からのチェックと早期発見にご協力をお願いいたします。

○道路上での漏水を発見したら

「道路の割れ目から水が湧き出ている。」「晴れの日なのにいつも水たまりができている。」などを発見された場合は、みやま市上下水道課（64-1533）までご連絡をお願いいたします。

○その水道料金、無駄な漏水かも？『水道メーター』を定期的にチェックしましょう！

心当たりがないのに水道料金が急に高くなっていませんか？

すべての蛇口を閉めて、水道メーターのパイロット(銀色の部分)が回っていないか確認してください。水を使っていないのにパイロットが回っていれば、宅地内で漏水している可能性があります。



○宅地内で漏水を発見した場合

水道メーターからご家庭の蛇口までの漏水は、お客様の管理となります。

修理は必ず「みやま市指定給水装置工事事業者」へご依頼ください。

水道管の漏水調査を実施しています

令和8年5月上旬から瀬高地区の水道施設（配水管、給水管等）の漏水調査を行っています。この調査は、貴重な水資源を有効に活用することを目的として実施するものです。

市が委託する業者がお客様の敷地内に立ち入って水道メーター等を確認する場合がありますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

漏水調査の内容について

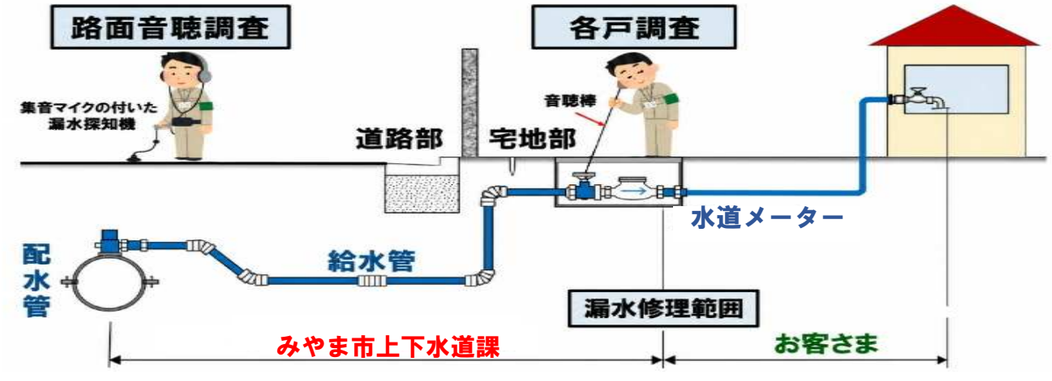
○道路下の配水管および給水管に漏水がないか、器具を使用し道路上を歩きながら調査します。

○道路をボーリングすることがあります。

○必要に応じて、各戸の止水栓や水道メーター付近を専用の棒により音聴調査します。

※調査員は腕章および市役所上下水道課発行の証明証を携帯しています。

また、この調査でお客様の費用負担はありません。



鉛製給水管について

○鉛製給水管とは？

鉛管は、鉄管などと比べ腐食しにくく、曲げ加工が簡易であるため、古くから給水管として全国的に使用されてきました。しかし、経年劣化により漏水が多発し、塩化ビニール管やポリエチレン管などの鉛管に代わる材料の開発に伴い、次第に使用されなくなりました。

みやま市では瀬高地区および高田地区において平成３年の末頃まで鉛製給水管を使用していましたが、それ以降はポリエチレン管を使用しています。

○鉛の水質基準は？

水道法において、水道水の鉛濃度の基準を生涯にわたり摂取しても健康に問題ない基準値として「1リット ルあたり 0．01ミリグラム以下」に定めらています。

○水道をご利用される際は

鉛製給水管を使用している場合でも、通常の状態で使用されている水道水（流水）の鉛濃度は、水質基準値を下回り問題ありませんが、長期間留守にされた後や、朝一番の水は、念のためバケツ一杯（約10リットル）程度を、飲み水や調理以外に使用していただくことでより安心してご利用いただけます。

※通常の使用では水道法に定められた水質基準に適合しており、ただちに健康を及ぼすことはありません。

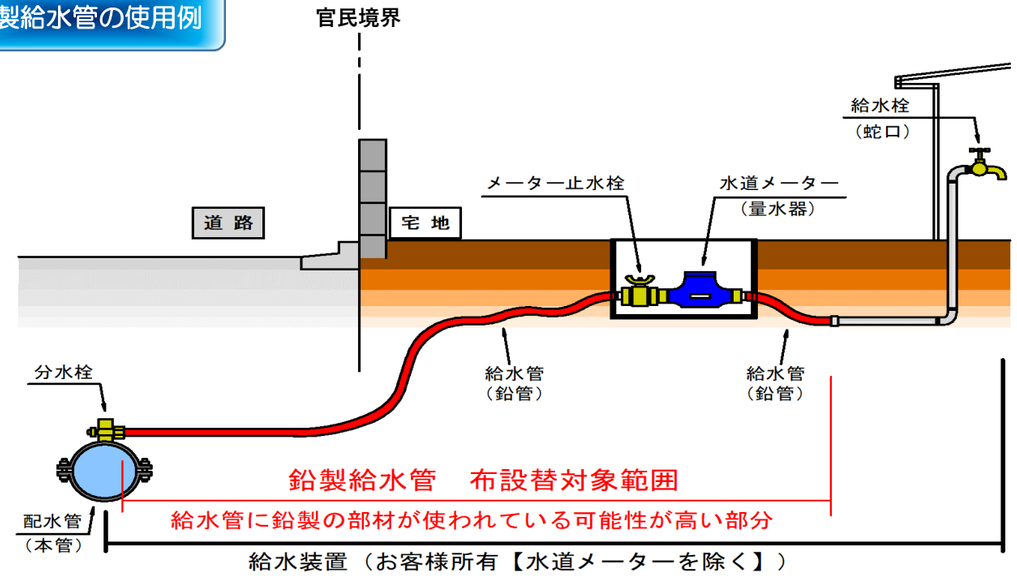
○鉛製給水管の対応について

水道本管の更新工事(配水管布設替工事)と併せて鉛製給水管を取り替えています。また、道路での漏水を修理した際に鉛製給水管が使用されていた場合は、可能な限り取り替えを行っています。

上下水道課では鉛製給水管布設替計画を策定し、今後は計画に則った鉛製給水管の取替を進めていきます。

取り替えの費用は、原則上下水道課で負担しますが、状況によってはお客様の負担が生じる場合や工事ができない場合があります。

鉛製給水管の使用例



節水にご協力ください！！

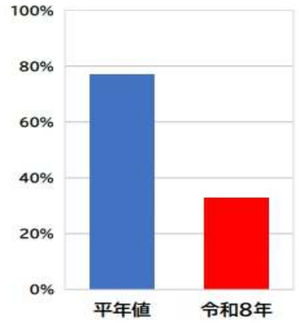


現在、福岡県などの重要な水源である筑後川水系では、記録的な少雨によりダムの貯水率が著しく低下し、大変深刻な水不足の状況となっています。

今後の降雨状況によっては、私たちの生活にも大きな影響を及ぼす恐れがあります。

限りある水資源を大切に使用するため、皆さまの節水へのご協力をお願いいたします。

福岡県南地域の水道水の主な水源である筑後川は、昨年９月以降の少雨によって渇水状況が長期化しています。２月以降の断続的な降雨により貯水率は若干回復していますが、例年と比較すると依然として低い水準となっています。
限りある貴重な水を大切に使うために、より一層の節水に努めていただきますようご協力をお願いします。



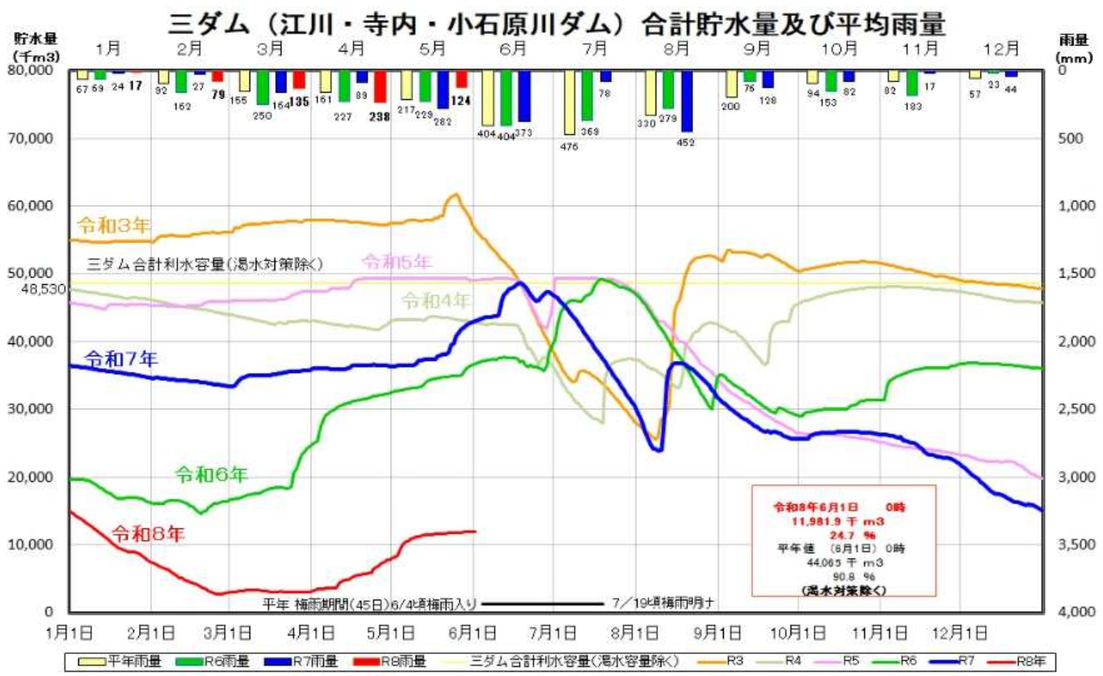
三ダム貯水率（5月時点）

※三ダム：江川・寺内・小石原川ダム
※平年値：令和4年～7年の貯水率平均値



小石原川ダム（福岡県朝倉市）の貯留状況

※令和8年5月14日時点（貯水率：22.4%）



ご家庭でできる効果的な節水テクニック

お風呂（水使用量の約43%）

お風呂は家庭で最も水を使う場所です。

シャワーをこまめに止める：出しっぱなしにすると1分間で約12リットル消費します。シャワーヘッドを節水タイプに交換するのもおすすめです。

残り湯の活用：お風呂の残り湯を洗濯の「洗い」や、植木への水やり、掃除に再利用します。

トイレ（水使用量の約20%）

「大」と「小」の使い分け：用途に合わせてレバーを使い分けることで、1回あたり約1～2リットルの節水になります。

流す回数を最小限に：複数回に分けて流すのをやめ、1回でしっかり流しきりましょう。

台所・キッチン（水使用量の約15%）

ため洗いをする：食器を洗う時は、水を流しっぱなしにせず、洗い桶などに水をためて洗います。

油汚れを拭き取る：洗う前にキッチンペーパーやスクレーパーで油汚れを拭き取っておくと、洗剤とすすぎの水を大幅に減らせます。

洗濯（水使用量の約16%）

まとめて洗う：洗濯物はまとめて洗うのが基本ですが、洗濯槽の7～8割程度を目安にし、詰め込みすぎないように注意します。

すすぎ1回対応の洗剤を活用：すすぎの回数を減らすことで、時間も水も節約できます。

洗面・手洗い・その他（水使用量の約6%）

水を出しっぱなしにしない：歯磨きの際はコップを使用し、手洗いで石鹸を泡立てている間は蛇口を閉めましょう。

一人ひとりの少しずつの心がけが、大きな水資源の節約につながります。この渇水を乗り越えるため、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

6月1日から7日は「水道週間」です

私たちの暮らしを支える「水」について、少しだけ考えてみませんか？

ふだん、蛇口をひねれば当たり前のように出てくるきれいな水。

そんな「当たり前」の裏側では、たくさんの施設や技術、そして働く人々の努力によって、24時間365日、安全な水が守られています。

「水道週間」は、水道について皆さんに知っていただき、理解を深めていただくために毎年実施されている全国的な運動です。



第68回 水道週間ポスター

第68回水道週間スローガン

今年のスローガンは以下の通りです。

「たいせつな　水道守ろう　未来へと」

私たちの生活にかかせない「水」は、災害時には最も重要なライフラインとなります。このスローガンには、水を通じた地域のつながりや、これからも安心して水を使い続けられる未来をみんなで守っていこう、という願いが込められています。

発行：みやま市役所 上下水道課 上水道係　℡：0944-64-1533(直通)